

第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
長野県代表選考会

主催 長野県山岳協会

共催 長野県高等学校体育連盟登山専門部

1. 期日 日程

2023年11月4日(土) 9:00~12:00

08:30 顧問会 大会打ち合わせ

09:00 受付

09:10 開会式 競技ルートの発表

09:20 試技

10:30 競技開始

11:30 協議終了

12:00 閉会式 解散

*競技の開始時間は参加人数によって変更あり

2. 会場

climbing center ARTWALL

〒381-2203 長野県長野市真島町川合 189-1

3. 競技種目

男子リード 女子リード

4. 競技方法

当日の公式練習時間を設け、その後、競技とする。

ルートは参加者に事前に通知する。

事前に会場にて練習し、当該ルートに挑戦していても構わない。

5. 競技上の注意点

(1)競技用ロープは選手が持参する。(長さ40m以上、太さ9mm以上、10mm以下)

(2)競技時間は、設けない。

(3)各選手は、競技ゾーンに入った時から40秒間の最終オブザベーション時間が認められる。

(4)選手の身体のあらゆる部位が地面から離れた時をもって、アテンプトの開始とし、競技時間は動画撮影とともに計測する。

(5)アテンプト中、選手は競技エリア外の不特定多数から指示を受けることができる。

(6)選手は、各クイックドロウのカラビナに順番に、すべてクリップしなければならない。

(7)Zクリップがあった場合は、選手はZクリップを修正しなければならない。選手は、必要があれば

クライムダウンして、クリップの解除と再クリップをすることができる。修正後は、全ての確保視点にクリップされていなければならない。

(8)主任審判員は、それ以上登り続けることが危険であると判断した場合、選手にアテンプットの終了を命じることができる。

(9)アテンプットの終了

選手の各ルートでのアテンプットは、次の各号の1つに該当したときに終了しなければならない。

①墜落

②使用を規定された以外のホールド、ハリボテを使用した場合

③ハンガー及びその取り付け用ボルト、クイックドロローを登るために使用した場合

④アテンプットを開始した後に、身体のいずれかの部分が地面に戻った場合

⑤何らかの人工的補助手段を使用した場合

(10)アテンプットの完了

ルートが規定に従って登られ、競技時間内に、ルートの最終クイックドロローあるいはカラビナに選手がクリップした時をアテンプットの完了とみなす。

(11) クライミングロープが選手のハーネスに8の字結びおよび止め結びで装着されていること。

(12) 主任審判員がテクニカル・インシデントの発生を認定した場合、当該テクニカル・インシデントの影響を受けた選手が不当に不利にならないために、当該選手にアテンプットの続行または中止の判断を命ずる。ただし、当該アテンプットを続行した場合は、テクニカル・インシデントの処置は完了したものとみなし、これ以降の当該テクニカル・インシデントに関する抗議は認められない。

(13)選手の成績判定および順位付けに関して、あきらかに順位がつかない場合は、同様高度に達した選手に集まってもらい、その場で動画を確認し、審判員とともに判断する。

6. 判定の基準

(1)ルートを登りきった選手の成績は「TOP」(完登)と表記される。

(2)完登以外でアテンプットが終了した選手については、そのルートのライン上で保持または使用した最遠点のホールドで成績を決定する。

7. 判定の方法

(1)既成ルートにマーキングされ、手で使用するものをホールドとして扱う。

(2)選手が安定した姿勢をとるか、あるいはその体制を制御し得た場合、そのホールドの「保持」と判断する。選手がホールドを保持した場合の成績は、ルート図上でホールドに付けられた番号に表記する。

(3)選手があるホールドから、ルート上を登っていく上で有効な、制御された登攀動作を行った場合、そのホールドの「使用」と判断する。選手がホールドを使用した場合の成績は、ルート上でホールドに付けられた番号にプラス(+)の末尾番号を付けてあらわす。この成績は、同じホールドの保持よりも上位となる。

(4)制御された登攀動作とは、静的であれ動的であれ一般に次のようなことを意味する。

①選手の重心位置の明らかな変化

- ②①に加え、少なくとも片方の手を次のいずれかに届かせるための動作
- ア) ルートのライン上の次のホールド
 - イ) ルートのライン上のより先にあるホールドで、他の選手がそのホールドからのムーブで保持したことのあるホールド
- ③レジティメイト・ポジションを外れた状態で行われたいかなる登攀動作に対しても「プラス」が与えられることはない。

レジティメイト・ポジション：リード種目において、選手がアテンプト中に以下の状態にあること。

- ①人為的補助手段を用いていない。
- ②予め取付けられた中間確保支点に順番にクリップしている。

8.順位決定方法

- (1)競技ルートの最高到達点
- (2)2位以上に関しては代表選考の関係で同順位が存在する場合は、当該選手のみ2本目を実施し順位を決定する。
- (3)(1)、(2)の方法で同順位が生じた場合、該当選手のみ3本目を実施する。3本目も同一高度となった場合は、到達点に達した時間の早い選手を上位とする。

9.参加資格

- (1)長野県高等学校体育連盟に加盟し、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会に2023年度の選手登録をしている者とする。
- (2)年齢は平成16年4月2日以降に出生の者で、高等学校に在学している者とする。
- (3)クライミング保険に加入していること。
- (4)参加選手の所属学校の教員による引率があること。

*全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会において、同様の参加資格があるため。以下の資料は、昨年度の大会の要綱であるが、本年度も同様の参加資格になると考えられるので参考にしてください。

○第13回全国高等ガッコ選抜スポーツクライミング大会要項より抜粋

8.参加資格

- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)等に在籍する生徒で、都道府県高等学校体育連盟に加盟し、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会に2022年度の選手登録をしている者とする
- (2)年齢は平成15年4月2日以降に出生の者で、高等学校に在学している者とする。ただし、出場は高等学校在籍中3回までとし、同一学年での出場は一回限りとする
- (3)出場する選手は、在籍する校長の承認を得ること
- (4)引率責任者は、校長の認める学校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る(但し、各都道府県における規程があり、引率責任者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする)

10. 参加料

(1) 1名 2000円 (各校でまとめておいてください。)

***現在施設と使用料を調整中です。変更の可能性がある事を了解しておいてください。**

11. 問い合わせ先

- ・長野県高校体育連盟登山専門部専門委員長
上田高校 横沢克彦

〒386-8715 長野県上田市大手1-4-32 0268-22-0002 (代表)

- ・長野県高等学校体育連盟登山専門部 スポーツライミング選考会事務担当
上田西高校 森下 暁

〒386-8624 長野県上田市下塩尻 868 0268-22-0412 (代表)

amorishita@uedanishi.ed.jp

12. その他

ビレイヤーが不足しています。ビレイヤーに関しては原則各選手で手配をお願いします。手配が難しい選手は申し込みの際にお知らせください。

13. スタッフ配置

各校の引率教員に一部業務をお手伝いいただきたいと思えます。

14. 大会申し込みについて

○事務担当の上田西高校森下先生まで、メールにて以下の点がわかるように連絡をしてください。

1, 出場選手

氏名・高等学校名・学年・生年月日・日本山岳協会選手登録番号

リードグレード OS (オンサイト) RP (レッドポイント)

2, 引率担当教員

氏名

3, ビレイヤーについて

氏名

*引率教員・ビレイヤーが手配できない選手は連絡ください。

○申し込み締切

令和5年10月14日(金) 16:00 厳守